

いろいろな出来事や気持ちを お便りて 伝えよう

2026年度

がみ か かた

手紙の書き方

小学校 3・4年生用 中学年

道くん 毎日暑いね。ぼくは近所の公園で、セミとりをしたよ。今度道くんもいはいに、セミをとって来よう。たいし

暑中お見舞い 申し上げます。さくらんぼいしに行きた行けるといいな。暑い田舎から、体調に気を付けてすごしてね。令和8年 夏 ほか

調べてみよう！

ノートパソコン・タブレットでテキストにあるQRコードを読み取ってみよう！

1 思いをこめて送りましょう

2 お便りを出そう

3 はがきの文章の書き方

4 夏のお便りの書き方

5 お礼じょうの書き方

6 しょう待じょうの書き方

7 ゆう便番号と住所の働き

8 はがきのあて名の書き方

9 ふうとうのあて名の書き方

10 便せんを使ったお礼じょうの書き方

11 はがき・切手について知ろう

12 ゆう便局の先たんぎじゅつ

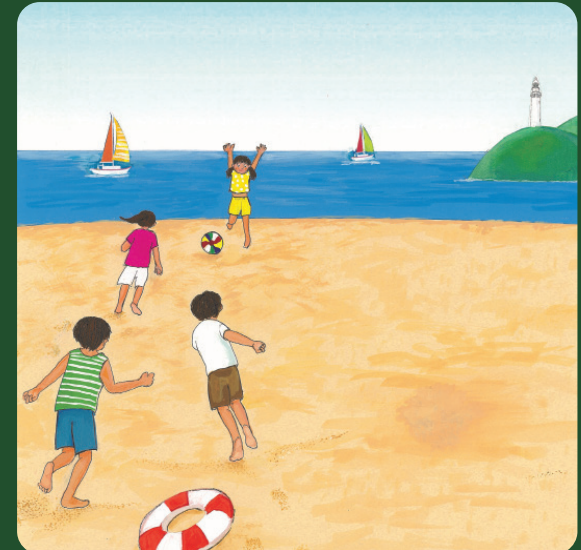
© JAPAN POST Co., Ltd. ぼくすくは郵便物のキャラクターです。

6 ~ 7 ページ

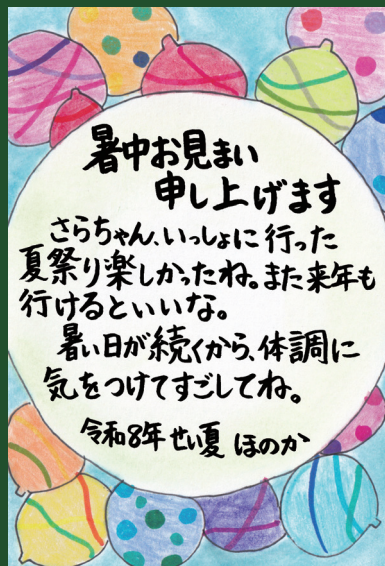
4

なつ たよ か かた
夏のお便りの書き方

ことし なつ なに たの
今年の夏、みなさんは何を楽しみたいですか？
はなび むし と かいすいよく
花火 虫取り 海水浴…



いろいろな夏のお便り はがきに書いて、伝えたい人へ送みましょう。





なつ たよ か かた
夏のお便りの書き方

がつ か しょうしょ がつ か りっしゅう ぜんじつ
7月7日(小暑)から8月6日(立秋の前日)までに
だ なつ たよ しょうちゅう み
出す夏のお便りを、暑中見まいといいます。
がつ か りっしゅう ざんしょ み
8月7日(立秋)からは、残暑見まいになります。

しょうちゅう み ざんしょ み
こんな暑中見まい(残暑見まい)があるよ! うすい字をなぞりましょう。

がつなのか しょうしょ がつむいか りっしゅう ぜんじつ だ なつ
7月7日(小暑)から8月6日(立秋の前日)までに夏のあいさつのお便りを

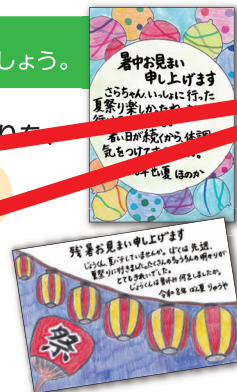
暑中見まい

7月23日の大暑から出す
ともわれます。

がつなのか りっしゅう は あい
8月7日(立秋)をすぎた場合は

残暑見まい

といます。



うすい字を
なぞりましょう。

え ど じ だい しょちゅう み
江戸時代の「暑中見まい」について
か
書かれています。



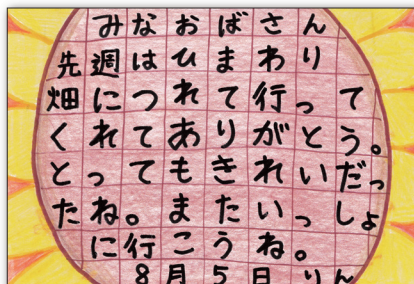
まめ よ
豆ちしきを読みましょう。



ち し き

しょちゅう あいだ あつ え ど じ だい しょちゅう み
「暑中」の間はとても暑いので、江戸時代には、「暑中見まい」として
なつ ま た もの みやげ も い い
夏負けをふせぐ「食べ物」をお土産に持って行ったと言われています。

他にもいろいろな夏のお便りがあるよ



大切な人へこの夏、
体験したことを
伝えよう。



ほか
他の
たよ
お便りも
み
見てみよう



ほか
他にもいろいろな
なつ
夏のお便りがあるよ。
たよ



み
見てみましょう。

なつ た もの
●夏の食べ物

うみ い もの
●海の生き物

ちゅう
●こん虫

なつ 夏らしい 絵は
え
ここも
み
見てみよう!

え
どの絵をかきたいですか。○でかこみましょう。

え
どの絵をかきたいですか。
○でかこみましょう。

み
見てみましょう。

③ 末文(結び)

⑦ 相手の健康を願う

⑧ これからのこと

- ・熱中しないように気を付けてください。
- ・今度いっしょに〇〇へ行きましょう。
- ・2学期もよろしくね。

② 本文

⑦ 伝えたいことをはっきり書く

⑧ 用けんを分かりやすくする

- ・夏休みに、友達とつりに行ったよ。
- ・つかまえたカブトムシを育てています。
- ・プールで水泳の練習をしています。
- ・来週、花火を見に行くよ。

① 前文(書き出し)

⑦ 季節のあいさつ

⑧ 相手の健康をたずねる

- ・暑い日が続いています。
- ・〇〇先生、お元気のことと思います。
- ・〇〇さん、夏ばてせずにがんばってますか。

いろいろな
書き出しを工夫
してみよう!

て ほん
手本

まつぶん むす
末文(結び)

ほんぶん
本文

ぜんぶん か た
前文(書き出し)

暑中お見まい申し上げます
毎日暑いですが、おじいちゃんおばあちゃんは、
お元気ですか。私は元気です。
この間、家族で水族館に行きました。イルカや
アシカのショーが見られてとても楽しかったです。
夏休みは、海に行きたいです。
熱中しないように気を付けてください。
令和八年 せい夏 美さき



めん か かた
うら面の書き方を
おぼ
覚えましょう。

たよ
お便りは、3つの部分に分けて書きます。

①前文（書き出し）を読みましょう。

てほん 手本

まつぶん むす 本文（結び） ほんぶん 本文 ぜんぶん か だ 前文（書き出し）

令和八年 せい夏 美々き

熱中のように気を付けてください。

夏休みは、海に行きたいです。

この間、家族で水族館に行きました。イルカやアシカのショーが見られてとても楽しかったです。

暑中お見まい申し上げます
毎日暑いですが、おじいちゃんおばあちゃんは、お元気ですか。私は元気です。



ぜんぶん か だ ①前文（書き出し）

きせつ ①季節のあいさつ

あいて けんこう ②相手の健康をたずねる

いろいろな か だ くふう 書き出しを工夫 してみよう!

あつ ひ つづ ・暑い日が続いています。

せんせい げんき おも ・〇〇先生、お元気のことと思います。

・〇〇さん、夏ばてせずにがんばってますか。

き せつ 季節のあいさつはおお 大きめに書き、
く てん 句点（。）は付けません。

✎ テキストに書きましょう。

① 前文(書き出し)

① 季節のあいさつ

② 相手の健康をたずねる

・暑い日が続いています。

・〇〇先生、お元気のことと思います。

・〇〇さん、夏ばてせずに
がんばってますか。

いろいろな
書き出しを工夫
してみよう!

季節のあいさつをなぞり、
続きを書きましょう。

めん (うら面)

今和八年 せい夏

暑中お見まい申し上げます

うすい線にそって、文字の中心が点線を通るようになぞり書きをしよう。↑ 実さいのゆう便はがきと同じ大きさです。

②本文を読みましょう。

て ほん
手 本

まつぶん むす ほんぶん ぜんぶん か だ
末文(結び) 本文 前文(書き出し)

令和八年 せい夏 美々き

熱中のように気を付けてください。

夏休みは、海に行きたいです。

この間、家族で水族館に行きました。イルカやアシカのショーが見られてとても楽しかったです。

毎日暑いですが、おじいちゃんおばあちゃんは、お元気ですか。私は元気です。

暑中お見まい申し上げます



② 本文

つた か
⑦ 伝えたいことをはっきり書く

よう わ
⑧ 用けんを分かりやすくする

なつやす ともだち い
夏休みに、友達とつりに行ったよ。

つかまえたカブトムシを育てています

すいらい れんしゅう
プールで水泳の練習をしています。

らいしゅう はなび み い
来週、花火を見に行くよ。

✎ テキストに書きましょう。

② 本文

⑦ 伝えたいことをはっきり書く

⑧ 用けんを分かりやすくする

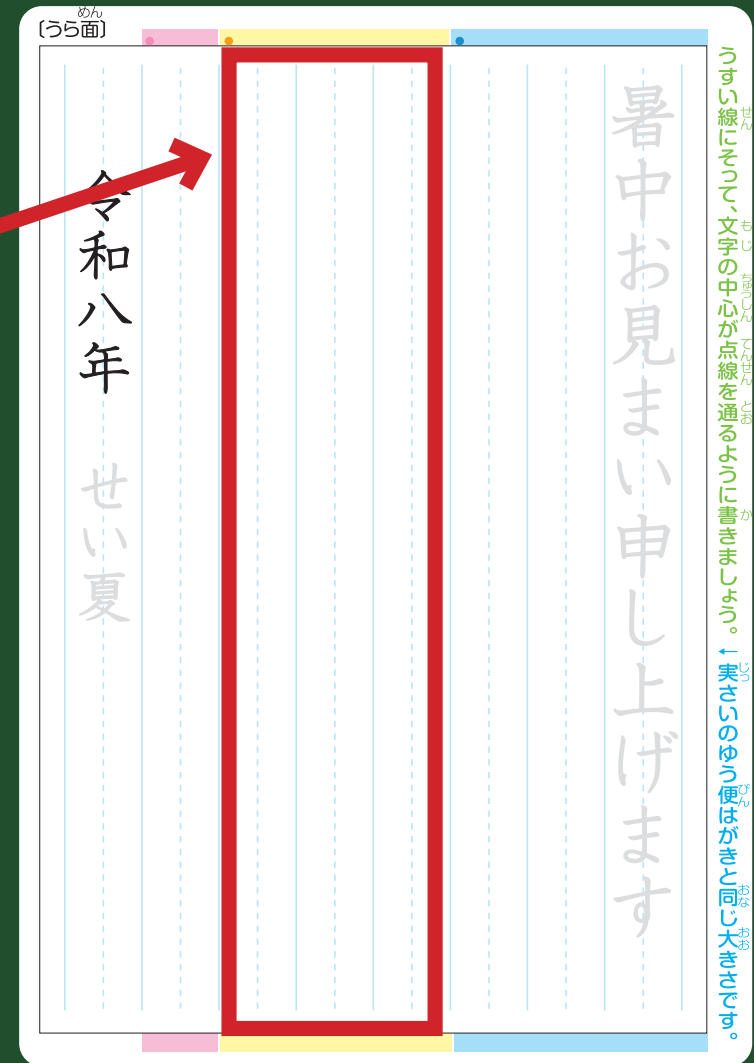
夏休みに、友達とつりに行ったよ。

つかまえたカブトムシを育てています

プールで水泳の練習をしています。

来週、花火を見に行くよ。

本文を書きましょう。



③ 末文（結び）を読みましょう。

て ほん
手 本

まつぶん むす 末文（結び） ほんぶん 本文 ぜんぶん か だ 前文（書き出し）

令和八年 せい夏 美さき

暑中お見まい申し上げます

毎日暑いですが、おじいちゃんおばあちゃんは、お元気ですか。私は元気です。

この間、家族で水族館に行きました。イルカやアシカのショーが見られてとても楽しかったです。

夏休みは、海に遊びたいです。

熱中しように気を付けてください。

③ 末文（結び）

あいて けんこう ねが
① 相手の健康を願う

② これからのこと

- ねっちゅう き つ
・熱中しようにならないように気を付けてください。
- こんど い
・今度いっしょに〇〇へ行きましょう。
- がっき
・2学期もよろしくね。

テキストに書きましょう。

③ 末文(結び)

① 相手の健康を願う

② これからのこと

- ・熱中しないように気を付けてください。
- ・今度いっしょに〇〇へ行きましょう。
- ・2学期もよろしくね。

末文(結び)を書きましょう。

めん (うら面)

令和八年 せい夏

暑中お見まい申し上げます

うすい線にそって、文字の中心が点線を通るようになに書きましよう。↑果ならのめう便はがきと同一大さなです。

テキストに書きましょう。

さいご
最後に、

- ねんごう
• 年号
- きせつ あらわ ことば
• 季節を表す言葉
- じぶん なまえ
• 自分の名前

か
を書きましょう。

ねん
年がじょうに「元旦」と書くように、
しょうみ
暑中見まいには「せい夏」、
ざんしょうみ
残暑見まいには「ばん夏」
か
と書きます。

